

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2025 年 4 月 30 日

都道府県知事 殿

病院名 社会医療法人母恋 天使病院
開設者 理事長 有賀 正

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。
また、併せて、同省令第 9 条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。

（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号：030969

臨床研修病院の名称：社会医療法人 母恋 天使病院

記入日：西暦 2025 年 4 月 30 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030969	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 天使病院臨床研修病院群 番号 0309699
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ ハヤシ 氏名(姓) 林	ジュンジ (名) 純史	役職 総務課 (内線 3081) (直通電話 (011)711-0101) e-mail : res-office@tenshi.or.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ シャカイイリョウホウジン ボコイ テンシビョウイン 社会医療法人 母恋 天使病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 065-8611 (北海道) 札幌市東区北 12 条東 3 丁目 1 番 1 号 電話 : (011)711-0101 FAX : (011)751-1708 二次医療圏 の名称 : 札幌		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ シャカイイリョウホウジン ボコイ リジチョウ アリガ タダシ 社会医療法人 母恋 理事長 有賀 正		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 051-8501 (北海道) 室蘭市新富町 1 丁目 5 番 13 号 電話 : (0143)24-1331 FAX : (0143)22-5296		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ ヤマモト 姓 山本	ヒロシ 姓 浩史	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙 1 に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	https://www.tenshi.or.jp		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号：030969

臨床研修病院の名称：社会医療法人母恋 天使病院

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤： 67 名、非常勤（常勤換算）： 3.3 名 計（常勤換算）： 69.3 名、医療法による医師の標準員数： 25.00375 名 * 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式 A-3 に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2025 年 04 月 01 日、告示番号：北海道告示 第 177 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 (2) 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	(1) 有 (108.740) m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 6148 件（うち診療時間外： 3936 件） 1 日平均件数： 16.8 件（うち診療時間外： 10.8 件） 急車取扱件数： 1549 件（うち診療時間外： 890 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 3 名、看護師及び准看護師： 3 名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙 4 に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 (1) 有 0. 無) 外科系 (1) 有 0. 無) 小児科 (1) 有 0. 無) その他 (産婦人科)
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 260 床、2. 精神： 0 床、3. 感染症： 0 床 4. 結核： 0 床、5. 療養： 0 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙 2 に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度のの前年度分、研修医の数は報告年度のの前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度のの前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 11.6 日、2. 精神： _____ 日、3. 感染症： _____ 日 4. 結核： _____ 日、5. 療養： _____ 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： 292 件、異常分娩件数： 261 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 1 回、今年度見込： 5 回 ※報告・届出病院の主催の
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙 4 に記入 <small>下に開催した回数を記入</small>
	剖検数	前年度実績： 2 件、今年度見込： 5 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 (1) 有 0. 無 (_____) 大学、(_____) 病院 <small>無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。</small>
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	1. 有（単身用： _____ 戸、世帯用： _____ 戸） (0) 無（住宅手当： 40000 円） <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>
	研修医室	(1) 有（ 1 室） 0. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	(65.000) m ²
	医学図書数	国内図書： 2580 冊、国外図書： 123 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 71 種類、国外雑誌： 10 種類
	図書室の利用可能時間	00：00 ～ 24：00 24 時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline 等の文献データベース ((1) 有 0. 無)、教育用コンテンツ (1. 有 (0) 無)、 その他 (_____) 利用可能時間 (00：00 ～ 24：00) 24 時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター (1) 有 0. 無)、 その他 (_____)

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号：030969

臨床研修病院の名称：社会医療法人 母恋 天使病院

<p>18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>病歴管理の責任者の氏名及び役職</p>	<p>フリガナ サトウ タケル 氏名(姓) 佐藤 氏名(姓) 健 役職 診療情報管理課課長</p>												
	<p>診療に関する諸記録の管理方法</p>	<p>① 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に: 電子カルテ)</p>												
	<p>診療録の保存期間</p>	<p>(5) 年間保存 ※一部 10 年間保存</p>												
	<p>診療録の保存方法</p>	<p>1. 文書 ② 電子媒体 その他(具体的に:)</p>												
<p>19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>安全管理者の配置状況</p>	<p>① 有 (1 名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</p>												
	<p>安全管理部門の設置状況</p>	<p>職員: 専任 (0) 名、兼任 (12) 名 主な活動内容: 例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集</p>												
	<p>患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況</p>	<p>患者相談窓口の責任者の氏名等: フリガナ ヤマモト ヒロシ 氏名(姓) 山本 氏名(姓) 浩史 役職 患者サポートセンター長 対応時間 (00:00 ~ 24:00) 24 時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無: ① 有 0. 無</p>												
	<p>医療に係る安全管理のための指針の整備状況</p>	<p>① 有 0. 無 指針の主な内容: 委員会規定、事故発生時の対応、事故防止の要点と対策</p>												
	<p>医療に係る安全管理委員会の開催状況</p>	<p>年 (12) 回 活動の主な内容: ヒヤリ・ハット及びインシデント・アクシデント実例(予防対策中心)の報告及び分析</p>												
	<p>医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況</p>	<p>年 (6) 回 研修の主な内容: 実例報告及び、予防対策、急変対応 (BLS 研修)</p>												
	<p>医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策</p>	<p>医療機関内における事故報告等の整備: ① 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容: 院内標準化の為連絡票や会議を通じて関係者へ通知し全体のマニュアルとする。</p>												
<p>20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)</p>		<p>修了: 7 名 中断: 0 名</p>												
<p>21. 現に受け入れている研修医の数 (基幹型・協力型記入)</p>		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>前々年度</th> <th>前年度</th> <th>当該年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年</td> <td>7 名</td> <td>5 名</td> <td>7 名</td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td>6 名</td> <td>7 名</td> <td>5 名</td> </tr> </tbody> </table>		前々年度	前年度	当該年度	1 年	7 名	5 名	7 名	2 年	6 名	7 名	5 名
	前々年度	前年度	当該年度											
1 年	7 名	5 名	7 名											
2 年	6 名	7 名	5 名											
<p>22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出</p>	<p>許可病床数 (260) 床 ÷ 10 = (26) 名</p>												
	<p>患者数から算出</p>	<p>年間入院患者数 (5796) 人 ÷ 100 = (57.96) 名</p>												
<p>23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入) <small>精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。</small></p>		<p>1. 精神保健福祉士: 0 名 (常勤: 0 名、非常勤: 0 名) 2. 作業療法士: 3 名 (常勤: 3 名、非常勤: 0 名) 3. 臨床心理技術者: 2 名 (常勤: 2 名、非常勤: 0 名) 9. その他の精神科技術職員: 0 名 (常勤: 0 名、非常勤: 0 名)</p>												
<p>24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 (基幹型記入) <small>JCEP による評価受審の有無を記載してください。</small></p>		<p>① 有 (評価実施機関名: 卒後臨床研修評価機構(2025年2月12日)) 0. 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。 受審状況有りの場合、結果の公表 ① 有 0. 無</p>												

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号：030969

臨床研修病院の名称：社会医療法人 母恋 天使病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)		* 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		女性 1 年次研修医 (0) 名 2 年次研修医 (0) 名 男性 1 年次研修医 (0) 名 2 年次研修医 (0) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所	院内保育所の有無 (1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (時 分 ~ 時 分) 病児保育 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) 夜間保育 (1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か <input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 不可) ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無) その他の補助 (具体的に :)
	保育補助	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所	休憩場所 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) 授乳スペース <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入)	()
	研修医のライフイベントの相談窓口	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 窓口の名称がある場合記入 (医師会事務局) 窓口の専任担当 1. 有 (名) <input checked="" type="radio"/> 無
	各種ハラスメントの相談窓口	窓口の名称を記入 (コンプライアンス委員会、人事課) 窓口の専任担当 1. 有 (名) <input checked="" type="radio"/> 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。		
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称：天使病院臨床研修プログラム プログラム番号： <u>030969901</u>
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		1 年次： 7 名、2 年次： 7 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ オオバ ゴウ 氏名 (姓) 大場 豪 所属 医師部門、外科・小児外科・乳腺外科、臨床研修室 役職 部長、主任科長、室長 電話： 011-711-0101 F A X： 011-751-1708 e-mail： res-office@tenshi.or.jp URL： https://tenshi.or.jp
	資料請求先	住所 〒 065-8611 (北海道) 札幌市東区北 12 条東 3 丁目 1 - 1 担当部門 担当者氏名 総務課 フリガナ ハヤシ ジュンジ 姓 林 名 純史 電話： 011-711-0101 F A X： 011-751-1708 e-mail： res-office@tenshi.or.jp URL： https://tenshi.or.jp

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号：030969

臨床研修病院の名称：社会医療法人 母恋 天使病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

<p>30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） <small>（基幹型記入）</small></p>	<p>募集方法</p> <p>応募必要書類 <small>（複数選択可）</small></p> <p>選考方法 <small>（複数選択可）</small></p> <p>募集及び選考の時期</p> <p>マッチング利用の有無</p>	<p>① 公募 2. その他（具体的に： ）</p> <p>1. 履歴書、2. 卒業（見込み）証明書、③ 成績証明書、 4. 健康診断書、⑤ その他（具体的に： 当院指定様式採用申請書 ）</p> <p>① 面接 ② 筆記試験 その他（具体的に： ）</p> <p>募集時期：05月01日頃から 選考時期：09月01日頃から</p> <p>① 有 0. 無</p>		
<p>31. 研修プログラムの名称及び概要 <small>（基幹型記入）</small></p>	<p>概要：* 別紙3に記入 （作成年月日：西暦 2025 年 4 月 1 日）</p>			
<p>32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） <small>（基幹型記入）</small></p> <p>* プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合には、副プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入</p>	<p>（プログラム責任者） 川がナ オオバ ゴウ</p> <p>氏名（姓） 大場 氏名（姓） 豪</p> <p>所属 医師部門、外科・小児外科・乳腺外科、臨床研修室 役職 部長、主任科長、室長</p> <p>（副プログラム責任者） ① 有（ 2 名） 0. 無</p>			
<p>33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 <small>（基幹型記入）</small></p> <p>全ての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。</p>	<p>* 別紙4に記入</p> <p>① 有（ EPOC ） ・ その他（ ） ） 0. 無</p>			
<p>34. インターネットを用いた評価システム</p>	<p>① 有（ EPOC ） ・ その他（ ） ） 0. 無</p>			
<p>35. 研修開始時期 <small>（基幹型、地域密着型記入）</small></p>	<p>西暦 2026 年 4 月 1 日</p>			
<p>36. 研修医の処遇 <small>（基幹型・協力型記入）</small></p>	<p>処遇の適用 <small>（基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）</small></p> <p>常勤・非常勤の別</p> <p>研修手当</p> <p>勤務時間</p> <p>休暇</p> <p>当直</p> <p>研修医の宿舍（再掲）</p> <p>研修医室（再掲）</p> <p>社会保険・労働保険</p>	<p>1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 <small>1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。</small></p> <p>② 病院独自の処遇とする。</p> <p>① 常勤 2. 非常勤</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> <p>一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 380000 円） 賞与／年（ 円）</p> </td> <td style="width: 50%; border: none;"> <p>二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 420000 円） 賞与／年（ 円）</p> </td> </tr> </table> <p>時間外手当：① 有 0. 無 固定残業制（45時間までみなし） 休日手当：① 有 0. 無</p> <p>基本的な勤務時間（8：30～17：15）24時間表記 休憩時間（ ）</p> <p>時間外勤務の有無：① 有 0. 無</p> <p>有給休暇（1年次：10日、2年次：11日） 夏季休暇 ① 有 0. 無 年末年始 ① 有 0. 無 その他休暇（具体的に：忌服休暇）</p> <p>回数（約 4 回／月）</p> <p>1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） ② 無（住宅手当：40000円） <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small></p> <p>① 有（ 1 室） 0. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small></p> <p>公的医療保険（ 組合管掌健康保険 ） 公的年金保険（ 厚生年金保険 ） 労働者災害補償保険法の適用 ① 有 0. 無、 国家・地方公務員災害補償法の適用（1. 有 ② 無） 雇用保険 ① 有 0. 無</p>	<p>一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 380000 円） 賞与／年（ 円）</p>	<p>二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 420000 円） 賞与／年（ 円）</p>
<p>一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 380000 円） 賞与／年（ 円）</p>	<p>二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 420000 円） 賞与／年（ 円）</p>			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号：030969

臨床研修病院の名称：社会医療法人 母恋 天使病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） <small>（基幹型・協力型記入）</small>	健康管理	健康診断（年 2 回） その他（具体的に 電離放射線障害対策）	
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 <input checked="" type="radio"/> 1. する <input type="radio"/> 0. しない 個人加入（1. 強制 <input checked="" type="radio"/> 0. 任意）	
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加： <input checked="" type="radio"/> 1. 可 <input type="radio"/> 0. 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無： <input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 0. 無	
	院内保育所（再掲）	院内保育所の有無（1. 有 <input checked="" type="radio"/> 0. 無） <small>有を選択した場合、開所時間を記入してください（ 時 分 ～ 時 分）</small>	
		病児保育 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 0. 無 夜間保育（1. 有 <input checked="" type="radio"/> 0. 無）	
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か <input checked="" type="radio"/> 1. 可 <input type="radio"/> 0. 不可	
	保育補助（再掲）	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助（1. 有 <input checked="" type="radio"/> 0. 無） その他の補助（具体的に： ）	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）	休憩場所 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 0. 無 授乳スペース <input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 0. 無	
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）	（ ）	
	研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）	<input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 0. 無 窓口の名称がある場合記入（ 医師会事務局 ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） <input checked="" type="radio"/> 0. 無	
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	窓口の名称を記入（ コンプライアンス委員会、人事課 ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） <input checked="" type="radio"/> 0. 無		
37. 研修医手帳（基幹型記入）		<input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 0. 無	
38. 連携状況（基幹型記入）		* 様式 A-6 に記入	

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているため、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から26までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号27から37までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。

11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。

12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

(1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。

(2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。

(3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

(4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。

(5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。)

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数(精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数} - 52}{5} \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

(6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式A-3に記入すること(歯科医師は記入しない。)

15 「救急医療の提供の実績」欄について

(1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。

(2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。

(3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。

(4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、全ての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。

(5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。

(6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。

(7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別葉にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別葉にて記入すること。

17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日0時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について
- （1）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。
- （2）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- （3）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（ ）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（ ）病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- （1）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
- （2）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- （1）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- （2）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- （1）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- （2）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- （1）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- （2）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- （3）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で1年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- （1）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
- （2）「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- （3）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
- （4）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（1）～（3）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
- （5）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- （6）「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。

31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について

(1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。

(2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

(3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

(4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。

(5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。

33 「研修医の処遇」欄について

(1) 「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。

(2) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。

(3) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。

(4) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

(5) 「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

(6) 「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。

(7) 「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

(8) 「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。

(9) 「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

7. 病院群の構成等

様式 A-10別表

基幹型又は地域密着型病院の名称（所在都道府県）：天使病院 （北海道）

年次報告（令和7年度プログラムの病院群）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
北海道	札幌	天使病院 (病院施設番号:030969)		北海道	札幌		北海道大学病院 (病院施設番号:030010)		北海道	宗谷		利尻島国保中央病院 (病院施設番号:032091)		天使病院臨床研修プログラム	7
				北海道	札幌		札幌医科大学附属病院 (病院施設番号:030018)		北海道	札幌		北海道泌尿器科記念病院 (病院施設番号:066461)			
				北海道	西胆振		日鋼記念病院 (病院施設番号:030021)		北海道	札幌		柴町ファミリークリニック (病院施設番号:147583)			
				北海道	札幌		勤医協中央病院 (病院施設番号:030006)		北海道	西胆振		本輪西ファミリークリニック (病院施設番号:033959)			
				北海道	札幌		斗南病院 (病院施設番号:031107)		北海道	西胆振		更別村国民健康保険診療所 (病院施設番号:056557)			
				北海道	札幌		中江病院 (病院施設番号:032450)					(病院施設番号:)			
				北海道	札幌		札幌孝仁会記念病院 (病院施設番号:090004)					(病院施設番号:)			
				北海道	札幌		札幌麻生脳神経外科病院 (病院施設番号:090003)					(病院施設番号:)			
				北海道	札幌		札幌東徳洲会病院 (病院施設番号:030014)					(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)					(病院施設番号:)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

- ※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
- ※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。

年次報告

様式 A-10 別紙 1

(No. 1)

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和6年度開催回数 2回）

病院施設番号：030969 臨床研修病院の名称：社会医療法人母恋 天使病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ オオバ	ゴウ	天使病院	医師部門 部長 外科・小児外科・乳腺外科 主任科長	研修管理委員会委員長 プログラム責任者
姓 大場	姓 豪			
フリガナ ヤマモト	ヒロシ	天使病院	院長	管理者
姓 山本	名 浩史			
フリガナ タカハシ	ノブヒロ	天使病院	副院長	指導医
姓 高橋	名 伸浩			
フリガナ ナカヤマ	マサト	天使病院	副院長	指導医
姓 中山	名 雅人			
フリガナ ミナト	マサシ	天使病院	外科・小児外科・乳腺外科 科長	副プログラム責任者
姓 湊	名 雅嗣			
フリガナ ササキ	オサム	天使病院	小児科科長	副プログラム責任者
姓 佐々木	名 理			
フリガナ ナカヤ	トシタカ	天使病院	医師部門 部長 糖尿病・代謝センター センター長	事務部門責任者
姓 中谷	名 資隆			
フリガナ ワタナベ	アキヒロ	天使病院	事務長	事務部門責任者
姓 渡部	名 昭弘			
フリガナ ナガガワ	チエコ	天使病院	副院長 看護部長	指導者
姓 中川	名 千江子			
フリガナ				
姓	名			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

年次報告

様式 A-10 別紙 1

(No. 2)

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和6年度開催回数 2回）

病院施設番号：030969 臨床研修病院の名称：社会医療法人母恋 天使病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ コバヤシ	セイジュ	中江病院	院長	研修実施責任者
姓 小林	名 清樹			
フリガナ タカハシ	ヒロマサ	日鋼記念病院	院長	研修実施責任者
姓 高橋	弘昌			
フリガナ キタシロ	シュウジ	斗南病院	診療部長・鏡視下手術センター長	研修実施責任者
姓 北城	秀司			
フリガナ カキザキ	ヒデヒロ	北海道泌尿器科記念病院	院長	研修実施責任者
姓 柿崎	秀宏			
フリガナ イリエ	シンスケ	札幌孝仁会記念病院	院長	研修実施責任者
姓 入江	伸介			
フリガナ アサイ	テイ	利尻島国保中央病院	院長	研修実施責任者
姓 浅井	悌			
フリガナ ムラタ	ジュンイチ	札幌麻生脳神経外科病院	参事	研修実施責任者
姓 村田	純一			
フリガナ カトウ	タツヤ	北海道大学病院	呼吸器外科教授	研修実施責任者
姓 加藤	達哉			
フリガナ ワタナベ	アツシ	札幌医科大学附属病院	病院長	研修実施責任者
姓 渡辺	名 敦			
フリガナ イシハラ	トシミチ	勤医協中央病院	内科診療部長	研修実施責任者
姓 石原	姓 敏道			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

年次報告

様式 A-10 別紙 1

(No. 3)

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和6年度開催回数 2回）

病院施設番号：030969 臨床研修病院の名称：社会医療法人母恋 天使病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ マツダ	ノリフミ	札幌東徳洲会病院	放射線診断科・救急科部長	指導医・研修実施責任者
姓 松田	名 律史			
フリガナ ナカガワ	タカフミ	栄町ファミリークリニック	院長	研修実施責任者
姓 中川	名 貴史			
フリガナ サトウ	コウタロウ	本輪西ファミリークリニック	院長	研修実施責任者
姓 佐藤	名 弘太郎			
フリガナ ヤマダ	コウスケ	更別村国民健康保険診療所	所長	研修実施責任者
姓 山田	名 康介			
フリガナ ミキ	トシツグ	みきファミリークリニック	院長	外部有識者
姓 三木	名 敏嗣			
フリガナ オオノ	カズミ	天使大学	成人看護学教授	外部有識者
姓 大野	名 和美			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称	: 社会医療法人母恋 天使病院
病院施設番号	: 030969

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小 児 科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修科目の診療科				その他の研修を行う診療科					合 計		
							産 科	婦 人 科						放 射 線 科	耳 鼻 咽 喉 科	眼 科	整 形 外 科				
年間入院患者実数 ()内は救急件数又は分娩件数	1,958	/	596	/	1,256	674 (553)			/					/	498	459	355				5,796
年間新外来患者数	3,687	/	1,517	6	2,326	679			96					0	2,046	1,082	1,470				12,909
1日平均外来患者数 ()内は年間外来診療日数	260.9 (243)	16.8 (365)	29.3 (243)	0.7 (243)	71.7 (243)	64.1 (243)	()	()	15.5 (243)	()	()	()	()	0.0 (243)	68.0 (243)	60.2 (243)	45.9 (243)				/
平均在院日数	13.7	/	8.2	/	14.3	10.2			/					/	7.5	2.8	23.5				/
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	17 (11)	1 (1)	5 (5)	3 (2)	11 (7)	9 (2)			1 (1)					0 (0)	3 (1)	3 (3)	2 (1)				55 (34)

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和6年度分)							臨床研修病院の名称：社会医療法人母恋 天使病院							
							病院施設番号：030969							
基幹型病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	11～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
天使病院	内科	7	6	8	7	4	4	3	4	2	4	4	3	3
	救急医療	2	2	1	1	2	3	1	1	1	1	2	1	
	外科							1	2	1	1	2	2	4
	麻酔科					1		2	2	1	1		1	1
	小児科					1	1	1	1	2	1	1	2	2
	産婦人科				1		1	1		1	1	1	2	2
斗南病院	小児科							1			1		1	
札幌東徳洲会病院	産婦人科		1			1						1	1	
日鋼記念病院	循環器内科				1	1	1							
J R 札幌病院	小児科								1	1				
	産婦人科								1	1				
札幌孝仁会記念病院	小児科			1	1									

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和7年度分)							臨床研修病院の名称：社会医療法人母恋 天使病院							
							病院施設番号：030969							
基幹型病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	11～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
天使病院	内科	7	6	8	7	4	4	3	4	2	4	4	3	3
	救急医療	2	2	1	1	2	3	1	1	1	1	2	1	
	外科							1	2	1	1	2	2	4
	麻酔科					1		2	2	1	1		1	1
	小児科					1	1	1	1	2	1	1	2	2
	産婦人科				1		1	1		1	1	1	2	2
斗南病院	小児科							1			1		1	
札幌東徳洲会病院	産婦人科		1			1						1	1	
日鋼記念病院	循環器内科				1	1	1							
JR札幌病院	小児科								1	1				
	産婦人科								1	1				
札幌孝仁会記念病院	小児科			1	1									

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和8年度分)							臨床研修病院の名称：社会医療法人母恋 天使病院							
							病院施設番号：030969							
基幹型病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	11～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
天使病院	内科	7	6	8	7	4	4	3	4	2	4	4	3	3
	救急医療	2	2	1	1	2	3	1	1	1	1	2	1	
	外科							1	2	1	1	2	2	4
	麻酔科					1		2	2	1	1		1	1
	小児科					1	1	1	1	2	1	1	2	2
	産婦人科				1		1	1		1	1	1	2	2
斗南病院	小児科							1			1		1	
札幌東徳洲会病院	産婦人科		1			1						1	1	
日鋼記念病院	循環器内科				1	1	1							
J R 札幌病院	小児科								1	1				
	産婦人科								1	1				
札幌孝仁会記念病院	小児科			1	1									

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和9年度分)							臨床研修病院の名称：社会医療法人母恋 天使病院							
							病院施設番号：030969							
基幹型病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	11～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
天使病院	内科	7	6	8	7	4	4	3	4	2	4	4	3	3
	救急医療	2	2	1	1	2	3	1	1	1	1	2	1	
	外科							1	2	1	1	2	2	4
	麻酔科					1		2	2	1	1		1	1
	小児科					1	1	1	1	2	1	1	2	2
	産婦人科				1		1	1		1	1	1	2	2
斗南病院	小児科							1			1		1	
札幌東徳洲会病院	産婦人科		1			1						1	1	
日鋼記念病院	循環器内科				1	1	1							
J R 札幌病院	小児科								1	1				
	産婦人科								1	1				
札幌孝仁会記念病院	小児科			1	1									

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

31. 研修プログラムの名称及び概要（令和7年度）

プログラム番号：030969803

病院施設番号：030969 臨床研修病院の名称：天使病院

臨床研修病院群番号：030969 臨床研修病院群名：天使病院臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称		天使病院臨床研修プログラム			
2. 研修プログラムの特色		当院で実際に診療している疾患を提示して、研修医が経験できることを具体的に示している。レクチャーやカンファレンスを重視して、EBM(Evidence Based Medicine)の実践に力を入れている。			
3. 臨床研修の目標の概要		医師のマナーを身につける、組織としてや社会における医師の役割を理解し実践する。プライマリーケアに必要な問診法、診察法、診断法、治療法、などを習得す基本手技を習得する。			
4. 研修期間		(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考		研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 新専門医制度開始の場合、基幹型施設に所属した上で当院を希望することで専攻医研修を行うことが可能			
5. 臨床研修を行う分野		<p>研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）</p> <ul style="list-style-type: none"> * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。 			
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	030969, 030021, 030006, 030010, 030018	天使病院、日鋼記念病院、勤医協中央病院、北海道大学病院、札幌医科大学附属病院	24週	1週
	救急部門	030969, 030021, 030006, 030010 030018, 030014	天使病院、日鋼記念病院、勤医協中央病院、北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、札幌東徳洲会病院	12週	
	地域医療	032091, 147583 033959, 056557	利尻島国保中央病院 栄町ファミリークリニック 本輪西ファミリークリニック 更別国民健康保険診療所	4週～8週	一般外来2～3週 在宅診療0.5週
	外科	030969, 030021 030010, 030018	天使病院、日鋼記念病院、北海道大学病院、札幌医科大学附属病院	4週～8週	1週
	小児科	030969, 030021 030010, 030018	天使病院、日鋼記念病院、北海道大学病院 札幌医科大学附属病院	4週～8週	1週
	産婦人科	030969, 030021 030010, 030018	天使病院、日鋼記念病院、北海道大学病院 札幌医科大学附属病院	4週～8週	
	精神科	030969, 032450 030010	天使病院、中江病院、北海道大学病院	4週～8週	
	一般外来			週	
病院で					

定めた 必修 科目				
選 択 科 目	内科	030969, 030006 030021	天使病院、日鋼記念病院、 勤医協中央病院	
	救急	030969, 030007 030006, 030010 030014	天使病院、日鋼記念病院、 勤医協中央病院、北海道大 学病院、札幌東徳洲会病院	
	麻酔科	030969, 030021 030010, 030018	天使病院、日鋼記念病院、 北海道大学病院 札幌医科大学附属病院	
	産婦人科	030969, 030021 030010, 030018	天使病院、日鋼記念病院、 北海道大学病院 札幌医科大学附属病院	
	小児科	030969, 030021 030010, 030018	天使病院、日鋼記念病院、 北海道大学病院 札幌医科大学附属病院	
	NICU科	030969	天使病院	
	外科	030969, 030021	天使病院、日鋼記念病院	
	呼吸器内科	030969, 030021	天使病院、日鋼記念病院	
	糖尿病内科	030969	天使病院	
	眼科	030969, 030021 030010, 030018	天使病院、日鋼記念病院、 北海道大学病院 札幌医科大学附属病院	
	耳鼻咽喉科	030969, 030021 030010, 030018	天使病院、日鋼記念病院、 北海道大学病院、 札幌医科大学附属病院	
	整形外科	030969, 030021 030010, 030018	天使病院、日鋼記念病院、 北海道大学病院、 札幌医科大学附属病院	
	泌尿器科	066461, 030021 030010, 030018	北海道泌尿器科記念病院、 日鋼記念病院、 北海道大学病院、札幌医科 大学附属病院	
	皮膚科	030021, 031107 030010, 030018	日鋼記念病院、斗南病院、 北海道大学病院、 札幌医科大学附属病院	
	放射線科	030969, 030021 030010	天使病院、日鋼記念病院、 北海道大学病院	
	脳神経外科	090003, 030010 030018	札幌麻生脳神経外科病院、 北海道大学病院、 札幌医科大学附属病院	
	心臓血管外科	030021, 090004 030018	日鋼記念病院、札幌孝仁会 記念病院、 札幌医科大学附属病院	
	高度救命救急 センター	030018	札幌医科大学附属病院	
	消化器外科Ⅰ	030010	北海道大学病院	
	消化器外科Ⅱ	030010	北海道大学病院	
循環器・呼吸器 外科	030010	北海道大学病院		

選 択 科 目	呼吸器外科	030018	札幌医科大学附属病院	
	乳腺外科	030010	北海道大学病院	
	乳腺・内分泌外科	030018	札幌医科大学附属病院	
	形成外科	030010, 030021 030018	北海道大学病院、日鋼記念病院、札幌医科大学附属病院	
	免疫・リウマチ内科	030018	札幌医科大学附属病院	
	神経内科	030010, 030018	北海道大学病院、札幌医科大学附属病院	
	精神科・神経科	030010, 030018	北海道大学病院、札幌医科大学附属病院	
	総合診療科	030018	札幌医科大学附属病院	
	内科Ⅰ	030010	北海道大学病院	
	内科Ⅱ	030010	北海道大学病院	
	消化器内科	030969, 030010 030021, 030018	天使病院、北海道大学病院、日鋼記念病院 札幌医科大学附属病院	
	消化器・総合	030018	札幌医科大学附属病院	
	血液内科	030969、030010	天使病院、北海道大学病院	
	腫瘍・血液内科	030018	札幌医科大学附属病院	
	呼吸器・アレルギー内科	030018	札幌医科大学附属病院	
	循環器内科	030969, 030010 030021	天使病院、北海道大学病院、日鋼記念病院	
	循環器・腎臓・代謝内分泌内科	030018	札幌医科大学附属病院	
	放射線診断科	030010, 030018	北海道大学病院、札幌医科大学附属病院	
	放射線治療科	030010, 030018	北海道大学病院、札幌医科大学附属病院	
	核医学診療科	030010	北海道大学病院	
	リハビリテーション科	030010, 030021 030018	北海道大学病院、日鋼記念病院、札幌医科大学附属病院	
	病理診断科	030021, 030010	日鋼記念病院、北海道大学病院	
	腫瘍内科	030010	北海道大学病院	
	病理部	030018	札幌医科大学附属病院	
	感染制御部、検査・輸血部	030010	北海道大学病院	
	臨床研究開発センター	030010	北海道大学病院	
臨床遺伝子診療部	030010	北海道大学病院		
超音波センター	030010	北海道大学病院		

	ICU	030018	札幌医科大学附属病院		
	検査部	030018	札幌医科大学附属病院		
	神経再生医療科	030018	札幌医科大学附属病院		
<p>備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 <u>52 週</u> ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。 臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 <u>12 週</u> ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。 研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約 60 回 救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週※但し、4 週を上限とする 一般外来の研修を行う診療科・・・内科・外科・小児科・地域医療 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること</p>					

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号

病院施設番号： 030969

臨床研修病院の名称： 天使病院

は、既に取得されている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号： 030969

臨床研修病院群名： 天使病院臨床研修病院群

6. 研修スケジュール (一年次・二年次：いずれかに○)

プログラム番号 030969803

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。*1

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分 野*2	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	11~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5												
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科	3												
凡例 △□病院 (△□△□△□)	外科			3										
天使病院 (030969)	内科	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	外科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	救急部門				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	小児科				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	産婦人科				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	麻酔科				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

* 1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

* 2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

* 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号

病院施設番号： 030969

臨床研修病院の名称： 天使病院

は、既に取得されている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号： 030969

臨床研修病院群名： 天使病院臨床研修病院群

6. 研修スケジュール（一年次・**二年次**・いずれかに○）

プログラム番号 030969803

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。* 1

(No. 2)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 * 2	1~	5~	9~	11~	17~	21~	25~	29~	33~	37~	41~	45~	49~																								
		4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週																								
天使病院 (030969)	内科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1										
	外科				1	1	1	1				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1									
	救急部門		1	1	1																																	
	小児科	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2			1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1						
	産婦人科	1	1	1	1	1		1	1	1	1		1	1	1					1	1	1																
	麻酔科																																					
	選択科	1	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3
中江病院 (032450)	精神科				1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1			1	1	1																
利尻島国保中央病院、(032091)	地域医療	1	1	1	1		1	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																	
勤医協中央病院 (030006)	救急科	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	

* 1: 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

* 2: 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

* 3: 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 病院施設番号: 030969

臨床研修病院の名称: 天使病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	研修プログラ ムの名 称・プログラ ム番号	備考 1. プログラム責任者 2. 副プログラム責任者 3. 研修実施責任者 4. 指導医
1 外科 (一般外来)	ヤマモト ヒロシ 山本 浩史	天使病院	院長 外科・小児外科	39	○	日本外科学会専門医・日本消化器外科学会認定医、身体障害者福祉法指定医、指導医講習会タスクフォース、北海道医師会指導医のための教育ワークショップ 受講(H16)、平成18年度プログラム責任者養成講習会受講	天使病院臨床研修 プログラム 030969901	4
2 内科 (一般外来)	フジノ ミチヒロ 藤野 通宏	天使病院	呼吸器内科 主任科長	39	○	日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医、日本臨床細胞学会専門医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医、日本医師会産業界、医学博士、天使病院研修指導医のためのワークショップ 受講 (H20.11.23-24)	〃	4
内科 (一般外来)	イシグロ アキヒコ 石黒 昭彦	天使病院	呼吸器内科	42	×		〃	
内科 (一般外来)	ヤマモト フミコ 山本 冬美子	天使病院	呼吸器内科	9	×	日本内科学会日本専門医機構内科専門医、日本呼吸器学会呼吸器専門医	〃	
3 内科 (一般外来)	タカムラ タケノリ 高村 毅典	天使病院	消化器内科主任科長・内 視鏡室室長	35	○	北海道医師会指導医のための教育ワークショップ 受講(H19) 日本医師会指導医のための教育ワークショップ 受講(H20)	〃	4
4 内科 (一般外来)	イトウ ヒデト 伊藤 英人	天使病院	消化器内科	35	○	日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、指導医、第7回北海道大学病院指導医のための教育ワークショップ 受講(H22)	〃	4
5 内科 (一般外来)	タカギ ヒデヤス 高木 秀安	天使病院	消化器内科 科長	31	○	日本内科学会認定医、総合内科専門医、日本消化器病学会専門医、指導医、日本内視鏡学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、第14回札幌医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会受講(R1)	〃	4
内科 (一般外来)	ナカハラ イクヤ 中原 生哉	天使病院	消化器内科 科長	31	×	日本内科学会総合内科専門医、日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本消化管学会胃腸科専門医	〃	
6 内科 (一般外来)	イガラシ シテユキ 五十嵐 哲祥	天使病院	血液内科 科長	17	○	日本内科学会認定内科医、日本血液学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、第13回札幌医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会受講(H30)	〃	4
7 内科 (一般外来)	シゲマツ アキオ 重松 明男	天使病院	血液内科	25	○	日本血液学会血液内科専門医、指導医、日本内科学会総合内科専門医、指導医、日本輸血・細胞治療学会認定医、日本造血・免疫細胞学会専門医、第4回北海道大学病院指導医のための教育ワークショップ (H20)	〃	4
8 内科 (一般外来)	ナカヤ トシタカ 中谷 資隆	天使病院	糖尿病代謝センター長・ 医師部門部長	14	○	日本内科学会認定内科医、第16回北海道大学病院指導医のための教育ワークショップ 受講(R1)	〃	4
内科 (一般外来)	タカシナ テサ 高階 知紗	天使病院	糖尿病・代謝 内科	21	×	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本糖尿病学会専門医	〃	
9 内科 (一般外来)	ハヤシタ アキコ 林下 晶子	天使病院	糖尿病・代謝 内科	18	○	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本糖尿病学会専門医、第16回北海道大学病院指導医のための教育ワークショップ 受講(R1)	〃	4
10 内科 (一般外来)	ニシムラ ミツヒロ 西村 光弘	天使病院	相談役 循環器内科	44	○	日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、身体障害者福祉法指定医、天使病院研修指導医のためのワークショップ 受講 (H20.11.23-24)	〃	4
11 内科 (一般外来)	ニシサト キミオ 西里 仁男	天使病院	循環器内科主任科 長・透析室室長	27	○	日本内科学会認定医・日本循環器学会専門医、公益社団法人全国自治体病院協議会第110回臨床研修指導医養成講習会受講(H25)	〃	4
内科 (一般外来)	ヒガシウラ ユキムラ 東浦 幸村	天使病院	循環器内科	11	×	日本内科学会認定内科医	〃	
12 内科 (一般外来)	タナカ ナルヒコ 田中 徳彦	天使病院	腎臓内科科長 透析センター長	35	○	日本内科学会認定医、日本透析学会専門医、日本透析アセスメント学会VA管理内治療認定医、透析VA/VI治療学会認定医、透析VA/VI治療学会血管内治療認定医、腎代替療法専門指導医、日本腎臓リハビリテーション学会指導医、日本フライマリ・ケア学会認定医、指導医、産業界・医療指導医、身体障害者福祉法指定医、医学博士(北海道大)、北海道医師会主催「第10回指導医のための教育ワークショップ」受講(H16)	〃	4
13 外科(救急) (一般外来)	ナカヤマ マサト 中山 雅人	天使病院	副院長	36	○	日本外科学会専門医・日本消化器外科学会認定医、身体障害者福祉法指定医、天使病院研修指導医のためのワークショップ 受講 (H20.11.23-24)	〃	4
14 外科(救急) (一般外来)	オオバ ゴウ 大場 豪	天使病院	医師部門部長、外科・小 児外科・乳腺外科主任科 長、臨床研修室長	20	○	日本外科学会専門医、日本小児外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医、第10回北海道大学病院指導医のための教育ワークショップ 受講(H25)、平成26年度プログラム責任者養成講習会受講	〃	1・3・4
15 外科(救急) (一般外来)	ミナト マサシ 湊 雅嗣	天使病院	外科・小児外科・乳 腺外科 科長	19	○	日本外科学会専門医、北海道医師会第16回指導医のための教育ワークショップ 受講(H30)、平成30年度プログラム責任者養成講習会受講	〃	2・4
16 外科(救急) (一般外来)	ハマダ カズヤ 浜田 和也	天使病院		11	○	日本外科学会 外科専門医	〃	4
17 救急科	エハマ ヨシマツ 江濱 由松	天使病院	科長 救急科	15	○	日本救急医学会救急科専門医、日本集中治療医学会集中治療科専門医、日本蘇生学会指導医、日本小児救急医学会メンバー、日本救急医学会推進インフュージョンコントロールドクター、全国自治体病院協議会主催第150回臨床研修指導医講習会受講(R4.1)、日本小児科救急医学会メンバー、日本救急医学会推進インフュージョンコントロールドクター、全国自治体病院協議会主催第150回臨床研修指導医講習会受講(H17)	〃	4
18 小児科 (一般外来)	タカハシ ノブヒロ 高橋 伸浩	天使病院	副院長 NICU主任科長	38	○	日本小児科学会認定医・専門医、身体障害者福祉法指定医、日本周産期・新生児医学会指導医、北海道医師会指導医のための教育ワークショップ 受講(H17)	〃	4
19 小児科 (一般外来)	トノキ ヒデフミ 外木 秀文	天使病院	臨床遺伝センター長	43	○	日本小児科学会専門医、日本遺伝カウンセリング学会専門医、指導医、ICD制度協議会認定医(知的障害)ドクター、医学博士、VHI機構指導医養成講習会受講(H17)、平成21年度プログラム責任者養成講習会受講	〃	4
20 小児科 (一般外来)	スズキ ダイスケ 鈴木 大介	天使病院	小児科 主任科長	25	○	日本小児科学会専門医、日本血液学会専門医、小児血液・がん専門医・指導医、造血細胞移植認定医、	〃	4
21 小児科 (一般外来)	ワキグチ サダエ 脇口 定衛	天使病院	小児科 科長	21	○	日本小児科学会専門医、第9回北海道大学病院指導医のための教育ワークショップ 受講(H24)	〃	4
22 小児科 (一般外来)	ササキ オサム 佐々木 理	天使病院	小児科 科長	21	○	日本小児科学会専門医、日本周産期新生児医学会新生児蘇生法「専門」コースインストラクター、日本胎児心臓病学会、胎児心エコー認定医、医学博士、第28回小児科医のための臨床研修指導医講習会受講(R3)	〃	2・4
23 小児科 (一般外来)	オクハラ コウジ 奥原 宏治	天使病院	小児科	33	○	日本小児科学会専門医、日本周産期新生児医学会新生児蘇生法「専門」コースインストラクター、医学博士、天使病院研修指導医のためのワークショップ 受講(H20.11.23-24)	〃	4
24 小児科 (一般外来)	モリオカ ケイタ 森岡 圭太	天使病院	NICU科 科長	20	○	日本小児科学会専門医、第10回北海道厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医ワークショップ 受講(H28)	〃	4
25 麻酔	イシカワ タロウ 石川 太郎	天使病院	麻酔科 主任科長	24	○	麻酔科指導医、日本麻酔科学会認定医・専門医、第6回北海道大学病院指導医のための教育ワークショップ 受講(H21)	〃	4
26 麻酔	ヤマブキ ユカ 山吹 有香	天使病院	麻酔科 科長	20	○	麻酔科指導医、日本麻酔科学会認定医・専門医	〃	4
麻酔	イタバシ ミサ 板橋 美沙	天使病院	麻酔科	8	×	日本麻酔科学会認定医、日本小児麻酔学会認定医	〃	
27 選択科 (整形外科)	ハマノ ヒロキ 濱野 博基	天使病院	整形外科 主任科長	18	×	日本整形外科学会整形外科専門医、日本手外科学会手外科専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター	〃	
27 選択科 (整形外科)	コバヤシ マサアキ 小林 正明	天使病院	整形外科 科長	41	○	日本整形外科学会専門医、身体障害者福祉法指定医、天使病院研修指導医のためのワークショップ 受講 (H20.11.23-24)	〃	4

28	選択科 (耳鼻科)	オйкаウ ケイタ 及川 敬太	天使病院	耳鼻咽喉科 主任科長	30	○	日本耳鼻咽喉科学会専門医、身体障害者福祉法指定医、天使病院研修指導医のためのワークショップ受講 (H20.11.23-24)	〃	4
	選択科 (耳鼻科)	タカハシ ヒロキ 高橋 紘樹	天使病院	耳鼻咽喉科 科長	14	×	日本耳鼻咽喉科学会専門医	〃	
29	産婦人科	フジエダ サトコ 藤枝 聡子	天使病院	産婦人科 主任科長	17	○	日本産婦人科学会専門医、第12回北海道大学病院指導医のための教育ワークショップ受講 (H27)	〃	4
30	産婦人科	マツシタ ヨウコ 松下 容子	天使病院	産科 科長	17	○	日本産婦人科学会専門医、第27回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ受講 (H31)	〃	4
	産婦人科	ゴトウ クミコ 後藤 公美子	天使病院	産科 科長	20	×	日本産婦人科学会専門医、母体保護法指定医	〃	
	産婦人科	カワサキ アヤ 川崎 彩	天使病院	産科 科長	10	×	日本産婦人科学会専門医、日本周産期・新生児医学会専門医母体保護法指定医	〃	
	産婦人科	ナガイ タクミ 永井 匠	天使病院	産婦人科	12	×		〃	
31	選択科 (眼科)	ソネ アキコ 曾根 昭子	天使病院	眼科 主任科長	35	○	日本眼科学会専門医、日本網膜硝子体学会光線力学療法認定医 (PDT認定医)、身体障害者福祉法指定医 (視覚障害)、天使病院研修指導医のためのワークショップ受講 (H20.11.23-24)	〃	4
32	選択科 (眼科)	スズキ トモコ 鈴木 智子	天使病院	眼科 科長	30	○	日本眼科学会専門医、日本網膜硝子体学会光線力学療法認定医 (PDT認定医)、天使病院研修指導医のためのワークショップ受講 (H20.11.23-24)	〃	4
33	選択科 (眼科)	カワタ ヒロカツ 川田 浩克	天使病院	眼科 科長	29	○	日本眼科学会専門医、札幌医科大学附属病院、第4回札幌医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会受講 (H21)	〃	4
34	精神科	ヤマモト シン 山本 晋	天使病院	精神科 科長	32	○	精神保健指定医、日本精神神経学会専門医・指導医、日本老年精神医学会専門医・指導医、日本認知症学会専門医・指導医、死体解剖資格認定医、産業医、平成16年度北海道地区精神科七者懇話会研修指導医講習会受講	〃	4
	病理	スギタ シンタロウ 杉田 真太郎	札幌医科大学附 属病院 病理診 断科・病理部	准教授	26	○	日本病理学会病理専門医研修指導医、日本臨床細胞学会教育研修指導医、日本病理学会分子病理専門医、茨城県指導医養成講習会 (平成21年度) 受講	〃	4

25. 臨床研修病院群の時間外・休日労働最大想定時間数の記載（基幹型記入）

様式A-10別紙5

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）： 社会医療法人母恋 天使病院 （ 北海道 ）

年次報告

研修プログラムの名称： 天使病院臨床研修プログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働 （年単位換算） 最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働 （年単位換算） 前年度実績	C-1水準 適用
天使病院	030969	基幹型	北海道	150時間	月5回程度（週1回の当直及び月1回の日直） （宿日直許可取得）	1名あたり約125時間/年 研修医12名で1500時間	なし
勤医協中央病院	030006	協力型	北海道	960時間	月5回程度 宿日直許可なし	約900時間を超える臨床研修医3名 （2024年度）*960時間未満	なし
札幌医科大学附属病院	030018	協力型	北海道	200時間	月4回程度（宿直：週1回、日直：月1回を上限） 宿日直許可あり	約100時間 対象研修医26名（2024年度）	なし
札幌孝仁会記念病院	090004	協力型	北海道	960時間	月4回程度 一部宿日直許可	約480時間 対象となる研修医4名	なし
札幌東徳洲会病院	030014	協力型	北海道	1235時間	月5回程度 宿直許可なし	1100時間	適用
札幌麻生脳神経外科病院	090003	協力型	北海道	250時間	月3・4回（宿日直許可あり）	臨床研修医の受入がないため 実績値なし	なし
医療法人社団心優会中江病院	032450	協力型	北海道	0時間	宿日直許可あり	0時間	なし
斗南病院	031107	協力型	北海道	960時間	約3回/月 宿日直許可取得済	月10時間程度	なし
日鋼記念病院	030021	協力型	北海道	120時間	月3回程度・宿日直許可あり	120時間 対象となる臨床研修医8名 （2024年度）	なし
北海道大学病院	030010	協力型	北海道	1名当たり 360時間/年	救急科・集中治療部及び産科（周産期）ローテーション期間中に 月4回程度実施。同ローテーション期間中は変形労働時間制を適 用。	（1名当たり）約 140時間/年 対象の臨床研修医数 20名	なし
栄町ファミリークリニック	147583	協力型	北海道	0時間		0時間	なし
更別村国民健康保険診療所	056557	協力型	北海道	0時間		0時間	なし
北海道泌尿器科記念病院	066461	協力型	北海道	0時間		0時間	なし
本輪西ファミリークリニック	033959	協力型	北海道	0時間		0時間	なし
利尻島国保中央病院	032091	協力型	北海道	0時間	当直週1～2回、日直月1～2回（救急科研修目 的のため）（宿日直許可A水準取得済み）	原則研修医の時間外勤務なし （2024年度研修医18名）	A水準適 用

※ 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入すること。

研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度（プログラム開始年度）の想定を記入すること。

※ 該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院について、施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成する基幹型臨床研修病院及び研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、C-1水準適用の状況を記入すること。

※ 最大想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。

※ 臨床研修医においては、従事する全ての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、A水準又はC-1水準しか適用されないことに留意すること。